

専門教育科目  講義科目

|  |   |   |   |
|--|---|---|---|
| 科目名： <b>税理士のための財務諸表論Ⅱ</b>  |   | 科目コード   | EJ27  |
| 科目主査： <b>齊藤 聡</b>  |   | 単 位   | 2   |
| 担当講師： <b>的場 龍太郎、宮地 昌之</b>  |   | 配当年次  | 3・4   |
| 授業の目的と概要   |   | グループワーク： <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし | 個人ワーク： <input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし |
| <p>本科目の目的は、財務諸表論の学習から企業の財務データを分析し、理解する力を身に付けることと、財務諸表を作成する基礎知識を得ることです。財務諸表論は、範囲が広く膨大な学習が必要になりますが、E J 26～E J 30（税理士のための財務諸表論Ⅰ～Ⅴ）を学習することで、全範囲の基礎学習が完了します。簿記の基礎知識が必要なため、「税理士のための簿記論」と同時に履修するか、「税理士のための簿記論」を先に履修することを推奨します。*EJ26（税理士のための財務諸表論Ⅰ）からの継続授業となります。税理士になるために、税理士試験科目免除が可能な大学院への進学も勧めています。</p> |   |   |   |
| 履修の前提となる科目   | <input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし  | 科目名：  |   |
| 履修の前提となる知識<br>その他特記事項  | 事前にテキストを熟読し、重要点や分からない点・理解に自信のない点についてマーキングし、質問ができるようしておきましょう。  |   |   |
| テキスト   | 『税理士 財務諸表論の教科書&問題集（2）』TAC税理士講座（編），TAC出版，最新版   |   |   |
| この科目の到達目標  | <p>①財務諸表を作成することができ、財務諸表を分析して、企業の問題点を把握し、その解決策を策定することができる。</p> <p>②企業会計において、経営者の相談にのり、財務面からの経営支援のアドバイスができる。*E J 26～E J 30（税理士のための財務諸表論Ⅰ～Ⅴ）全体としての到達目標となる。</p> |   |   |
| 成績評価の方法  | <p>授業への参画度が重要になります。出席、提出物、試験で成績評価をします。</p> <p>※スクーリング全日の出席、課題、最終試験の提出（白紙提出不可）をもって、採点対象とする。</p>  |   |   |
| 事後学習   | 授業中に取り上げられる会計処理は限られます。新聞、情報、ネットを利用して最新情報にあたりましょう。   |   |   |
| 事後学習の参考文献  | <p>『新版 会計法規集〔第11版〕』中央経済社，2019年</p> <p>『税理士 財務諸表論 理論答案の書き方 最新版』TAC税理士講座（編），TAC出版</p> <p>『税理士 財務諸表論 計算問題の解き方 最新版』TAC税理士講座（編），TAC出版</p>                        |   |   |
| スクーリング受講時に用意するもの   |   |   |   |
| <input checked="" type="checkbox"/> テキスト <input checked="" type="checkbox"/> 筆記用具 <input checked="" type="checkbox"/> 電卓（大きめが望ましい） <input checked="" type="checkbox"/> カメラ・マイクは必須となります。  |   |   |   |